



もうすぐー

ピッカピッカの一年生

この4月に、町内7つの小学校に入学する342人の児童をお祝いする「入学おめでとう大会」が、2月28日午後1時から鷹巣公民館ホールで開かれました。最初に、出川町長が「もうすぐ一年生、交通事故に気をつけ、元気に登校しよう」とあいさつ。続いて東小、中央小、鷹小の先輩が、器楽合奏、遊戯、劇を披露しましたが、入学の日が待ち遠しい子どもたちは、もう一年生きどりでした。

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

2月28日現在	(前月比)
総人口 25,592人	(10人増)
男 12,510人	(2人減)
女 13,082人	(12人増)
世帯数 7,150世帯	(6世帯増)

◆編集と発行 鷹巣町役場総務課広報係

◆印刷所 KK 秋北新聞社

町議会三月定例会

出川町長の施政方針と

行政報告の要旨



厳しい財政の中

衆知を結集し

健康で豊かなまちづくり

新年度
施政方針

昭和五十六年度の施策については、一般会計をはじめ特別会計におおよそ示されていますが、以下その説明を申し上げます。

ご承知のとおり、市町村財政は制度的にも実質的にも自主財源に乏しく、また総体的にも少ないことから、勢い国、県の助成等に負うところが大きくなっています。したがって、今後とも可能な限り国、県の適切な措置が得られるよう配慮をはらってまいりますが、同時に、町としても創意工夫を講じ、衆知の結果を図りながら懸命の努力をはらい、長期的な展望に立つて健全財政を堅持し、町民の要望実現にまい進したい所存であります。

大きな課題としては将来の福祉、教育、文化的施設用と



して隣接地の取得を本年度から行いたいと考えております。また、阿仁合線の存廃については、県をはじめ沿線町村と協議をしながら、あらゆる方策を講じてまいりたいと考えております。

財産区の今後の管理経営についても、年度内に十分協議を重ね、将来への態勢を確立したいと考えております。いずれにいたしましても、最善の施策を講じながら執行にあたりたいと考えておりますので、議員各位をはじめ、町民各位の一層のご指導をお願い申しあげ、施政の一端を申し上げます。

【農林業関係】：水田利用再編対策事業は、米の需給の長期見通しから第二期目は、水田総面積の十八・三％に当たる五百三十九haの水田転作が余儀なくされています。

このような状態は長期化される見通しであり、町としては基盤整備による土地改良を始め、農地の汎用化と、地域ぐるみの転作田の集団化を進めるとともに、農地の流動化等による稲作プラス畜産、稲作プラス畑作との複合経営の定着化に積極的に取り組み、農家所得の安定を図ってまいります。

また、畜産については、今年度も引き続き購入飼料の価

新年度の予算などを審議する昭和五十六年第一回定例町議会は、三月十日に招集され、午前九時から本会議を開き、会期を二十日までの十一日間と決めたあと、出川町長は向こう一年間の町政のすすめ方と、十二月定例会以降の主だった事項について述べましたので、その要旨を報告します。

なお、現在審議中の各議案については、四月一日付け広報に掲載します。

格安定と疾病予防に対して一部助成をなし、畜産農家の経営の安定に努力してまいります。

次に、住みよい農村づくりのため、第三期山村振興農林漁業対策事業の指定と、五十六年度限りの補助事業として、地域農政整備実施事業（特認事業・単年度）の指定を受けるよう、関係省庁および設置地区と協議を重ね、この実現を図る所存であります。

●農道整備：陣場谷地区農免農道整備事業は、総延長六千九百五十メートルのうち五十五年度まで四千六百五十七メートルの改良、および舗装工事が行われ、本年度内完成が望まれています。が、国の予算枠配分等の関係から、全線完成の予定は五十七年度に延びる見通しであります。

五十六年度は、一千四百三十八メートルの路盤および舗装工事と、摩当川の向町橋の下部工事が予定されています。また、大野谷基幹農道舗装事業は、九百五十五メートルの舗装工事を施工して全事業完了の予定であります。

石の巻地区および小糠沢地区（石の巻地区施行予定延長四百五十メートル、小糠沢地区施行予定延長一千一百三十三メートル、幅員五メートル）の団体営農道整備事業は、それぞれ残された用地買収と路体工事に入ります。

本年度の新規農道整備事業は、彦四郎沢地区（全体延長九百七十五メートル、幅員五メートル）と、横瀬より森吉町中新田に至る路線（延長一千八百八十四メートル、幅員五メートル）を、本年度より着工する予定になっております。

地籍調査事業は、三年目に入りますが、本年度は七日市地区（吉ヶ沢、下舟木、与助岱、葛黒）の十九号、四百三十八haの事業を予定しております。

林業：林野整備として、七日市本郷の入会地六十haは適切な管理を助長させるため、五十六年度中に権利者に配分することとしております。

次に、団地共同施設計画の作成を八千haに拡大実施し、林業振興地域整備計画策定地域の指定を受け、林道の開設、生活環境整備事業等を円滑に推進すべく総合整備事業の導入を図ります。

町有林の整備については、町行林五十五haに杉を植栽する予定であります。また、町有林三haに栗、〇・七haにブナ、〇・四haにエンジュを植栽し、町民の憩いの場作りと広葉樹植栽の価値感を高めてまいります。

保育については、下刈三百三十八ha、除伐六ha、施肥二十三haを実施する見込みであります。

林道開設では、現在継続事業で実施しております県営事業の基幹林道大摩当線は、五十六年度分として計画延長一千六百八十メートル、事業費一億二千二百万円を実施し、鷹巣・田代間は開通される予定で、総体計画の三十三％が完了する見込みであります。

峰越林道奥見内線は、五十六年度分計画延長一千五百四十メートル、事業費九千三百万円を実施、全体計画の四十八％となる予定であります。

林構追加事業では、五十五年度より二カ年継続事業で実施した柵木岱線を、五十五年度保留分も含めて延長一千百メートル、事業費五千八百二十七万三千円で施工の予定であります。

新林構事業の沢口林業センターについては、二カ年継続事業で実施、五十六年度は整地整備費五百万円、本体事業費四千二百八十五万円で施工する予定であります。

【福祉関係】：低迷を続ける財政硬直化により、行政機関

においても厳しい財政運営を迫られ、福祉政策も社会的公平の原則から国・県の段階でも福祉の見直しが行われるようとしております。

町としても、これら情勢を適確に把握しながら慎重に対処していかなければならないと思っております。

しかしながら、町独自で行っている施策については、新年度は従来どおりこれを持続する考えであります。

乳幼児保育については、町立、私立合わせて七施設に五百四十人の入所を行う予定であり、新年度においても五歳児および二人以上の入所児をもつ保護者に対し、保育料を軽減するとともに、私立保育園運営費の助成措置も行う予定であります。

老人福祉については、老人クラブ等を中心に生産活動を主体とした自主活動がしだいに定着してきており、自ら求める福祉を推進しながら健康で生きがいのある老後を高めてまいります。

そのためにも、老人健康診査事業を効果的にすすめるとともに、在宅福祉活動の輪をさらに拡げるため、身障者福祉も含めた家庭奉仕員の増員をはかってまいります。

身体障害者福祉については、家庭奉仕員による巡回訪問、奉仕活動を深め、老人福祉と併せてボランティア団体を育成するとともに、在宅福祉活動の推進をはかってまいります。

また、新年度は国際障害者年でありますので、国、県上部機関の諸行事をみながら、町の身障者更生協会と協議し町独自の事業を組んでまいります。

消防、防火対策については、防火水槽、消火栓は地域の特殊性を勘案しながら、年次的に設置して消防水利の確保につとめ、消防機器の更新、機具置場の改築等についても順次整備しながら、町民の生命、財産の擁護に尽してまいります。

また、消防団員の士気の高揚と有事の対応を目的に規律、および操作訓練をはじめ、地域防災訓練を積極的に進めてまいります。

交通安全対策については、死亡事故ゼロを目標に増加している事故件数、傷者を減少させるため、道路等交通安全

施設の整備をはかるとともに関係機関、団体の連絡協調を一層強め、全町民が一体となった対策を推進してまいります。

また、被災者救済のための交通災害共済への加入を促進してまいります。

【労働および観光関係】：昨春以降、個人消費の伸びなやみ、住宅需要の落ち込みにより冷夏・冷害による購買力の低下が重なり、町内景況は依然として停滞色が強く、業種間に明暗の差をみせたまま越年した反面、道路の整備、交通機関の発達から経済圏が拡大し、一進一退の中で「カゲリ現象」を強めております。従って、今後地元業界をして自己資本の充実、合理化、近代化を含めて経営の刷新が望まれるところであります。

労働関係では、技能労働者の養成を図るため、技能研修センターに対し運営費補助を継続するとともに、中、高卒をはじめ中年者を対象に技能者養成に努めてまいります。

また、労働金庫および労働者信用基金協会に対して、預金や預託を継続して行い労働福祉の向上に配慮してまいります。

出かせぎ対策では、県および町単独事業を通じて健康診断の励行、優良事業所の開拓、互助会加入の促進等、労働条件の向上と安全就労に努めるとともに、出稼相談指導員によりその実態を把握し、就労先に町広報、文集等の配付を行ってまいります。

商工関係では、産業振興の面から関係団体の育成強化等、それらの助成を継続するとともに、資金需要に対処するため保証料の補助および預託を継続してまいります。

観光関係では、観光協会、商工会等関係団体との連携を密にし、観光施設の整備拡充とPRおよび観光みやげ品の開発や、郷土芸能の育成に努めてまいります。

【保健衛生関係】：自分のからだは自分で管理するという観点からも、各種検診の受診率を高め、病気の早期発見、早期治療の徹底を期すとともに、衛生思想の向上に努めてまいります。

また、近年各種検診で受診者と未受診者が固定化してきておりますので、未受診者対策を強力にすすめてまいります。

す。

環境面では、ごみ、し尿の収集処理の徹底を期し、健康で住みよい生活環境づくりに努力いたします。

次に、畜産の振興とあいまって、地域住民に新鮮で良質の食肉を供給できるよう広域圏の事業として、と畜場の浄化槽や内部施設の充実に、処理能力の拡大を図りたい。また、と畜場経費の増加に対し、必要最小の使用料の値上げ改訂により収支のバランスを保ちたい考えです。

【土木関係】…道路関係では、道路改良を坊沢前山線外十五路線約六千メートル、舗装は大堤、昭和線外十二路線約八千メートルを実施する予定であります。

橋梁関係は、今泉沢線一号橋を合川営林署と費用分担のうえ架替えを行なうと共に、秋田渡橋東又等三橋の改良を実施する見込みです。

排水新設関係は、役場前から農林高校に至る区間の浸水を解消するため、排水路新設を予定しております。

除雪関係では、冬期除雪の万全を期するため除雪ドーザーの購入を予定しています。

都市計画関係は、公園整備事業として中央公園の園路の舗装と修景施設を整備し、また下水道整備として中倍都市下水路を引続き施行する考えであります。なお、幹線道路の都市計画決定につきましては、国道一〇五号線鷹巣バイパスの完成、ならびに中倍架橋に与える影響が大きいと考えられますので、早期決定を目標に努力してまいりたいと考えております。

住宅関係は、五十六年度より胡桃館団地の建替えに着手し、本年度は簡易耐火構造二階建を二棟(十二戸)を建設、最終年度の五十八年度には六戸建四棟(二十四戸)木造六戸の計三十戸となる計画であります。

災害復旧工事は、五十四年度災害二十五カ所、五十五年度災害を三十四カ所実施する予定であり、五十四年度災害は本年度をもって全カ所復旧を完了する見込みであります。

一方、国直轄の綴子川嵩上げは引き続き用地買収が行われると共に、奥羽本線の鉄橋の下流左岸約五百メートルを工事施行の予定になっていきます。

また一〇五号線鷹巣バイパスについては、米代川から大

堤内七号線までの間は測量調査買収を含め未着手となっているので、今後共県に協力し一日も早い促進を図る所存であります。

【水道関係】…上水道事業については、五十五年度をもって公営企業の経営基本原則にそった運営をすることができました。

本事業も今年で十一年目となり各施設の点検を行い、営繕について今年度管理本館の上屋補修、および事業量の増に伴い倉庫兼車庫を新築する予定であります。

また、量水器の更新四百十件を計画し、給水装置等の管理面を強化すると同時に未加入者の解消に一層努力したいと考えております。

綴子簡易水道については、五十五年、五十六年の二カ年継続事業で施工しておりますが、この七月上旬に完了の予定です。

坊沢簡易水道事業については、浄水場擁壁の嵩上げを計画し、七座簡易水道事業についても施設の維持管理の強化と環境整備に特に努めてまいります。

なお、年度中にこれら簡易水道の水道料金については、収支均衡度合を考慮し、料金の改訂を必要最小範囲内をもつて行いたいと考えております。

【教育関係】…激動する社会の進展の中で、教育の使命はますます重要になりつつあり、教育の振興は人づくり、町づくりの根源であると考えます。

このような見地から、教育環境、教育的条件の一層の整備拡充を図り、質的深化を期したいと考えております。

幼児教育面では、幼稚園の一層の整備強化を図るとともに、園児の健康を第一に、集団生活になれさせ、生活の初歩的、基本的きまりを身につけさせることを重点に、地域事情を勘案しながら充実に期してまいります。

また、同時に家庭教育の重要性を強調して進めてまいります。

学校教育面では、新教育課程の定着を図りながら苦しみに耐え、たくましく生き抜く人間の育成を根幹として、基礎学力とともに自ら学ぶ意欲を育て、勤労尊重、郷土愛を強調してまいります。

特に教師の自覚に訴えて、研修強化に努めてまいります。社会教育面では、青少年の健全育成を重点事項とし、特に学校と社会教育関係者との連携を図りながら、青少年育成町民会議の結成を推進してまいります。

また公民館設置条例を改正し、公民館分館の独立によって自主的に、しかも特色ある地域活動の活発化と各種社会教育施設の効率的な活用を図るとともに各種団体、諸講座のリーダーを養成、自主運営の推進に努めてまいります。

十二月定例町議会以降の 行政報告要旨

水田利用再編対策の昭和五十五年度転作奨励金については、十二月二十六日付で総額二億五千三百五十七万六千円を各農家に支払いを完了したほか、水田利用再編対策事業補助金、推進特別交付金等五千二百七十六万七千円の支払いを完了しました。

なお、第二期水田利用再編対策(五十六年度から五十八年度まで三カ年)の転作目標面積の配分は、五百三十九haで全面積の十八・三%となりますが、五十六年度に限り、冷害に対する特別措置として四十三haが軽減され、四百九十六haの配分となりました。

これについて農協組合長会、水田利用再編対策協議会の協議を得まして、一月二十三日まで地区別説明会を開き、各集落別の農家の仮配分を終りました。

配分方法は、県の配分方法に準じて行いましたが、各農協別の目標面積と平均配分率は次のとおりであります。榮は四千七百七十haで十六・五八%、鷹巣二千四百十haで十五・六八%、西部九千四百五十haで十六・六〇%、沢口一万四千九十haで十七・一九%、綴子一万二千七百haで十六・八六%、七日市九千七百八十haで十七・四二%となっております。

昭和五十六年産米の限度数量は、十八万七千九百七十九俵(うるち米十八万六千六百七十九俵、もち米一千八百俵)

の配分を受け、各農協別の調整配分をしましたが、農家別配分は四月上旬の予定であります。

本年度産葉たばこの収納状況は、耕作戸数三十三戸で総生産量は三万一千七百二十七箱(五十四年度二万九千二百三十一箱)で、売上高は三千七百三十八万四千円(五十四年度三千七百四十二万円)で、昨年とは同額の生産高となっております。

山村振興事業として、かねて工事中の綴子基幹集落センターは、九十％程度の進捗率となっており、年度内完成の予定であります。

団体営農道整備事業石の巻地区は、全延長一千四百四十四、幅員五、五ののうち二百三十、また小糠沢地区は全延長一千二百四十五、幅員五、五ののうち百三十二を工事中であります。いづれも年度内に完了いたします。

五十五年度冷害救済対策農地改良事業(農道および水路補修)については、町内五カ所(鷹巣、綴子、小猿部、陣場岱各土地改良区、西部農協)を、年度内に実施の予定でありましたが、豪雪のため作業が困難になったので、五十六年度に実施することになりました。

災害復旧事業については、五十五年十一月に発注、工事中の二十七カ所(農地一カ所、施設二十六カ所)は、九十％が完了しており、残り十％についても年度内に完了いたします。したがって五十四年および五十五年災、災害復旧工事の全体内訳は、農地復旧百三十六カ所のうち、百十四カ所が完了(八十四％)、残地区二十二カ所(十六％)となります。

また、農業用施設については、二百八十三カ所のうち、二百十四カ所(七十六％)が完了し残地区六十九カ所(二十四％)となりますが、いづれも五十六年度に発注の予定であります。

地籍調査事業については、全工程作業が終了し、昭和五十四、五十五年度(二年継続)で実施した地区について、本閲覧を三月四日より二十三日まで二十日間実施しております。この本閲覧が終了したい国土地庁の認証を受け、登記作業に入ります。

なお、地籍調査前後の変動は、調査前が筆数三千百五十

三筆、地籍五百六十・五〇ha、調査後は筆数三千六十九筆、地積は一千百五十五・三一haと、筆数が三％減、地積が二百六％の増を示しております。

林業関係では、冷害対策事業として雇用の促進を図るため町有林の整備を実施しております。

地帯では、七日市金堀沢三・五ha、事業費百十九万六千円、延人員百二十一人。

除伐では、綴子湯線舟沢ほか二カ所で四十七・六ha、事業費三百三十二万九千円、延人員四百四十一人。

間伐は、栄宇徳右エ門谷地百三十ha、事業費二百三十四万五千円、延人員四百三十三人で、いづれも完了しました。

枝打ちについては、栄宇彦十郎谷地および綴子湯線舟沢四十haを事業費三百二十七万六千円、延人員五百二十一人で完了しておりますが、徳右エ門谷地および提沢五十三・五haについては、事業費四百三十七万二千円、延人員六百九十五人を予定し現在事業実施中ですが、三月末までには完了する予定であります。

林業振興計画作成事業については、団地共同森林施設計画樹立面積が現在四千八百haとなっておりますが、これを八千haに高めるために五十五、五十六年度の二カ年で三千二百haを実施予定で、五十五年度では補助金百万円で一千二百haを、森林組合が調査および計画案の作成を完了、三月末までに所有者の同意を得て知事の認定を受ける予定であります。

老人の健康を守るため、町内十医療機関の協力を得て実施した老人健康診査は、一月中旬診査結果がまとまりました。

本年度は、検診効果を高めるため、主に六十五歳から六十九歳までの若年層で定期的に通院していない人を対象にしたところ受診者三百二十七人となり、うち八十三人(二十五・四％)の高率で治療を要する人が発見され、若年老人の健康診査の重要性が、あらためて認識されております。

八月から実施している在宅福祉促進事業は、常設の相談員による日常相談活動をはじめ、ネットワーク活動を推進するため、綴子地区をモデル地区として自治会長、民生(児童)委員等関係者による推進会議を組織しながら、チラシ

配布、福祉講座等開催して地域への浸透を図るよう努めております。

交通安全対策については、一年を通してそれぞれの安全運動が行われ、関係機関の積極的な協力を得て一十二月の死亡事故は前年の六人を二人に減少させる成果はありましたが、事故件数、傷者ともそれぞれ七十六件九十四人と前年を二十％ほど上まわっており、うち老人、子どもが二十八人(二十九・八％)となっております。

昭和五十五年歳末たすけあい募金については、町民各位、団体等から二百二十九万四千余りのご芳志が寄せられました。本年は、特に在宅寝たきり老人、重度心身障害者の方々への見舞品、低所得者に対する見舞金などを家庭奉仕員、民生児童委員が、各家庭を訪問しながら贈りました。

健康づくり推進事業の柱である脳卒中予防対策として、町内十一集落四百六十八世帯をモデル地区として選定し、塩分測定、食事調理指導等を実施し、PRに努めた結果、塩分の濃い味噌汁を食べている世帯が五十四年度には三十二・九％の百五十四世帯でありましたが、五十五年度には十四・五％の六十八世帯に減少してきました。

インフルエンザの予防接種については、幼稚園、保育園、小中学校の幼児・児童生徒三千三百四十人のうち二千七百四十人(八十二％)に実施しましたが、二月に入ってから全般的にまん延の傾向がみられ、中央保育園では在籍八十一人中二十九人(三十五・八％)の罹病者が出て、二月二十六日より三日間休園措置をとりました。

むし歯予防対策については、三歳児を中心にフッ素の導入、糖分の減量等指導の強化をはかった結果、三歳児三百四十六人中むし歯のない子七十九人(二十二・八％)と、開始当時の七・四％より逐年向上してきており、最終的には第二次検診合格者三十一人を表彰しました。

各種検診事業では、集団検診とあわせて、北秋中央病院での半日ドックをすすめた結果、胃検診四十六・二％、婦人科検診二十九・九％の検診率となっております。

結核検診については、婦人会、保健婦委員の協力を得、特に脳卒中検診とあわせて実施した結果、九十三・五％の成績をあげました。

北秋中央病院の全身用コンピュータX線断層診断装置は、十月末工事が完成し、使用を開始しました。

地区内一月分の経済動向をみると、せいの製品は、前月に引き続きメーカーの需要に支えられ好調と推測され、木材、木製品は冬眠が続き引合不振で悪化しております。

機械、金属(弱電を含む)鉄管は冬季の引合が低調であり、建設業は木造建築が依然低調であるが、水道工事は引き続き共同事業で活発です。

卸売業は、全般的に節約ムードにあり、小売業は豪雪で冬物衣料が好調と推測され、サービス業は横ばいです。

出かせぎ援護対策の一環として、去る一月四日公民館ホールにおいて、第四回出稼者激励懇談会を開催しましたが、二百名程の参加者がありました。

昭和五十五年の土地買収は、中岱地区を附属駐車場兼緑地広場用地として二千九百三十五㎡と、脇神字下太田表地区を沢口林業センター用地として、四千九百八十七㎡合計七千九百二十二㎡を取得し、所有権の移転登記も完了しました。

また、未登記の処理については、五十五年四月より五十六年一月までに、所有権移転登記三百四十九筆、分筆登記四百七十二筆、相続登記四十二筆、地目変更登記一千四百六十一筆、合筆登記一千二百二十三筆、抵当権抹消登記四十五筆、保存登記二十七筆、表示登記六十一筆、更生登記二十四筆、合計三千七百四筆の登記を処理しましたが、今後事務促進に、なお一層努力します。

前野団地については、五十五年四月より十二月までの間に十七区画の返還があり、この十七区画全部を抽選により売渡しを終っており、総区画百七十のうち現在百五十八区画に家屋が建築されており、未建築十二区画には、昭和五十八年十二月までに建築することになっております。

建設関係で昭和五十六年二月末までに発注した各種工事は、百六十九件八億一千五百三十三万二千円となっております。

内訳では、道路橋梁関係で自衛隊の協力を得て実施した坊沢前山線の改良工事のほか四十六件を二億八千八十五万一千円で実施しております。

河川および排水関係では六件、七百九十九万八千円で、工事中のものが二件ありますが、年度末までには完成する予定であります。

都市計画関係では、公園関係の陸上競技場と中央公園を二十二件、八千十一万一千円で整備しました。

また、中岱都市下水路線越分を含み四件一億一千七百三十三万四千円で発注しましたが、現在工事中であります。

公営住宅関係は、南鷹巣団地に簡易耐火構造二階建住宅を四棟十六戸、木造平屋建八戸とそれに関連する物置、舗装等を含め十二件一億四千四百八十八万一千円で実施しました。

なお懸念された入居状況も、入替等の措置により二月末現在二戸の空屋となっておりますが、三月中に解消されると思います。

災害復旧関係では、七十八件二億二百五十六万一千円で発注し、大部分が完成しておりますが、工事の規模、発注時期等の関係で現在工事中のものもありますが三月末までには完成します。なお内訳は、五十四年災三十二件、八千六万八千円、五十五年災は単独を含めて四十六件、一億二千二百四十九万三千円となっております。

かねてからすすめてまいりました鷹巣都市計画道路の変更につきましては、去る十二月十七日あけぼの町関係者と、今年に入ってから住吉町、末広町の関係者と話し合いの場をもち、理解と協力を要請しております。なお、今後も話し合いをすすめてまいりたいと考えております。

そのほか、国県等の事業のうち、直轄河川改修工事の綴子川堤防かさ上げについては、昨年に引き続き用地買収を行いました。今年には左岸の米代川合流点附近一千㎡の用地買収を行いました。

また、一〇五号線のバイパス用地買収を予定しております。米代川以北の太田地区につきましては、二月末現在地権者の同意が得られず測量を実施できずにあります。

上水道事業については、業務予定量の今年度計画給水件数二千六百件に対し、年度未加入見込件数は二千五百七十五件で、達成率が九十九%、また全体計画に対する普及率は八十五・八%の見込みとなっております。

有収率についても、前年度八十二・五%であったが、現在八十三・八%と上昇しております。

一方経営面においては、前年度で累積欠損金を解消し、繰越利益剰余を上げることができましたが、今年度も剰余金として九百万円程度見込まれております。

綴子簡易水道事業については、五十五年度から二カ年継続で改良工事をすすめておりますが、土木工事と電気工事関係は完成し、管工事も年次割の今年度分はほぼ完了となっており、全体での進捗率は八十三%の出来高となっております。

坊沢簡易水道事業については、二月末日現在の加入状況は三百二十八件、一カ月一件当り平均使用水量は七立方メートルとなっております。

七座簡易水道事業については、加入状況は三百四十五件、一カ月一件当り平均使用水量は六・一立方メートルとなっております。

学校施設と環境整備については、総工事費三百一十一万円をもって給食調理室内部改修のほか、南中、綴子の屋根補修、鷹小の送水配管布設を実施しました。

なおこのあと、鷹中の指導室床張替(四室)、西小の暖房管取替工事が予定されております。鷹小敷地問題については、町議会全員協議会等で出された意見等を踏まえながらさらに検討を深めてまいります。

第十九回町民スキー大会は、二月八日町営薬師山スキー場において、選手八百三十三名、役員百八十名を含め町民多数の参加のもとに、天候にめぐまれて開催されました。参加者も年毎に増え、またスキー教室や各地区大会も盛んになり、スキーの愛好者が増加しつつあります。

五十六年二月末現在、農地法第三条による移動は二百三十一件、一万百九十三aとなっております。そのうち無償三十五件と使用貸借によるもの三十八件、あわせて八千二百二十aは農業者年金受給のための経営委譲が主であります。

また、法第四条および第五条による農地転用は百十三件、一千三百八十八aとなっております。

※：以上が、出川町長が報告した新年度の施政方針と行政報告の要旨です。

新入学児童の交通安全

交通ルールを

親子で語ろう



東小学校児童の集団登校

新学期まであとわずか。

新入学児童をお持ちのご家庭では、期待に胸をふくらませながら、入学の準備になにかとお忙しいことでしょう。

お子さんの入学にあたって忘れてはならないことの一つに、交通ルールのしつけがあります。

いままでは、比較的家の近所で遊んでいた子供たちも、学校に通うようになると、その行き帰りを

「飛び出し」による事故が約七割

子どもの交通事故で一番多いのは、いわゆる「飛び出し」です。

警察庁の統計によりますと、昭

始め、新しい友だちもできるなどして、行動範囲はしだいに広がっていきます。

ここで気をつけなければならぬのが、交通事故です。

毎年、この時期は、新入学児童の交通事故が目立ちます。入学を前に、正しい交通ルールについて、いま一度親子でよく話し合いまし

和五十四年の幼児と小学生の交通事故のうち六十六％、つまり全体の七割近くが、路地から大通りなどへの「飛び出し」が原因となっています。

小学生の「飛び出し」による事故は、一、二、三年生が四、五、六年生に比べて約四倍にものぼっており、低学年ほど危険が多いことを物語っています。

「飛び出し」に次いで、事故件数の多いのは「横断中の事故」で、

子どもの行動特性を知ろう

子どもを交通事故から守るには、まず子どもの行動の特性をよく知ることが大切です。そのいくつかをあげてみますと――

▽子どもは一つのことに気が向くと、まわりのものが目に入らなくなる。ボールが道路にころがり出すとつい走り出すのもそのためです。

へお母さんへ

登校前はゆとりをもつて

子どものいるご家庭では、ふだんから交通ルールをよく教えるとともに、朝、学校に送り出すときは、次の点に十分気をつけましよう。

* 出かけるときにしからない
* 忘れものをさせない



* 通学時間にゆとりをもたせる
子どもは、しかられるとそのことで頭がいっぱいになり、周囲の状況が目に入らなくなりま

す。
また、時間にゆとりがなかったり、忘れものをして途中から引き返したりすると、非常にあわてるため、注意力が散漫になり、事故のもとになりますから注意しましよう。

一方、車を運転される方は、こうした子どもの行動特性を十分理解して、子どもを見たら「赤信号」と思い、細心の注意を払いましよう。

停車している車や走っている車の直前直後の横断、信号無視、路上で遊んでいて――などとなっています。

▽信号無視をしている大人や年上の子どもを見るとすぐまねをしたり、自分で状況を判断しない

で、大人や年上の子に依存しがち

で、人の流れにたよって信号も

みないで横断歩道を平気で渡つ

たりすることが多い。

▽応用動作ができない。たとえば、

いつも通る道路では交通ルール

を守ることでできても、別の道

路ではそれができないことが多

い。

▽物のかげで遊ぶ傾向がある。た

とえば、空のダンボールに入っ

たり、車のそばで遊びたがる。

年度末を迎え――

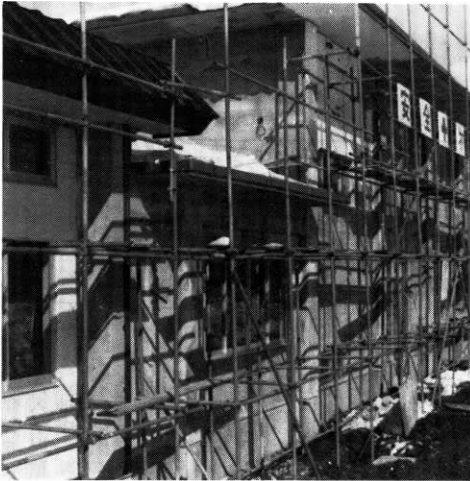
工事は急ピッチで進む

年度末を半月後にひかえ、町で発注しております工事事も完成期限を目前にして、急ピッチで工事がすすめられています。また、役場では税の申告相談、新年度予算などを審議する町議会の開催、それに年度のしめくりなど、忙しさもふだんの倍に感じられます。

地区の殿堂

綴子基幹集落センター

昨年の八月から、綴子下町の旧綴子公民館と同診療所を解体した跡地三千四百二十五・九一平方メートルに建設している綴子基幹集落センター



ター工事は、豪雪に見舞われながらも順調に進み、三月五日現在の進捗率は九十八％となっています。同センターは、鉄筋コンクリート造一部二階建、一部鉄骨平家建て総面積は七百十三・一八平方メートル。一階は五百六十七平方メートル、ステージ付き二百二十四・二十平方メートルの大会議室、六十・〇九平方メートルの婦人研修室、五十七・五九平方メートルの生活改善実習室、三十一・七六平方メートルの談話室、二十八・十五平方メートルの管理室および健康相談室のほか収納庫、ロビー、便所、洗面所など。二階は百四十六・一八平方メートルで、六十三・三八平方メートルの農林業経営技術研

究の大会議室、六十・〇九平方メートルの婦人研修室、五十七・五九平方メートルの生活改善実習室、三十一・七六平方メートルの談話室、二十八・十五平方メートルの管理室および健康相談室のほか収納庫、ロビー、便所、洗面所など。二階は百四十六・一八平方メートルで、六十三・三八平方メートルの農林業経営技術研

修室、三十四・九五平方メートルの会議室と広くなっております。

工事費は、総額で九千二百九十五万円。内訳は、建設工事が七千七百四十五万円で鷹巣土建工業・河田重夫、電気設備工事八百三十八万円で小畑電気商会・小畑陸郎、給排水・衛生設備工事七百七十二万円で佐々木燃料施設・佐々木鉄男。ほかに設計料三百七十七万円、事務費二十万円、内部備品一千五百八十三千円で、総事業費は一億六千八百四十八千円となっています。

工事期限は、三月三十日まで。



〔河川災害復旧工事〕

▼工事場所〓湯の沢川左右岸（前山字二又口一〇号） ▼請負額〓二百三十八万円 ▼請負者〓北秋建設・渡辺昌
▼工事場所〓湯の沢川左右岸（前山字二又口二〇号） ▼請負額〓一千三百八十万円 ▼請負者〓秋田機械建設・知野次郎
▼工事場所〓黒沢川右岸（黒沢字高田三〇号） ▼請負額〓百七十四

万七千円 ▼請負者〓板倉建設・板倉七郎
※工事期限は、いずれも三月二十五日まで。

〔道路改良工事〕

▼工事場所〓七日市地内（小森七日市線） ▼請負額〓五百二十万円 ▼請負者〓長岐建設・長岐六郎 ▼工事期限〓三月二十五日

〔道路新設改良工事〕

▼工事場所〓栄字李岱地内（摩当李岱線） ▼請負額〓八百四十八万円 ▼請負者〓鷹巣土建・河田重夫 ▼工事期限〓三月二十五日

〔側溝改良工事〕

▼工事場所〓鷹巣字北鷹巣（栄町元軌道鷹巣線） ▼請負額〓二百五十万円 ▼請負者〓千葉建設・千葉勲

▼工事場所〓鷹巣字北鷹巣（天南通〓横町線） ▼請負額〓四百三十六万円 ▼請負者〓芳賀工務店芳賀喜行
※工事期限は、いずれも三月二十五日まで。

〔都市下水路工事〕

中岱地区の延長四百七十九メートル、総額一億一千五百八十八万円で次の三工区で工事をすすめています。

▼第一工区〓延長二百四〇メートル ▼請負額〓四千八百九十八万円 ▼請負者〓津谷組・津谷栄七

▼第二工区〓延長百九十三メートル ▼請負額〓四千六百九十五万円 ▼請負者〓石川建設・石川徳治

▼第三工区〓延長八十一メートル ▼請負額〓一千九百九十五万円 ▼請負者〓大川建設・大川仁吉郎

※工事期限は、三月二十日まで。

町長日誌

2月16日～2月28日

- 16日 衛生施設組合議会
- 18日 交通安全協会総会
- 18日 新年度予算査定
- 19日 交通対策特別委員会
- 20日 新年度予算査定
- 20日 鷹中PTAとの懇談
- 20日 県町村会定期総会、町村土地開発公社設立団体長会議〓秋田市
- 22日 第一回町長杯県北選抜中学校柔道大会
- 23日 鷹巣阿仁広域市町村圏組合管理者、副管理者会議定例会
- 24日 県商工会地域問題に関する啓発活動県北会議
- 25日 町長と語る会〓七日市地区
- 26日 全国高校総体バレーボール会場についての協議
- 28日 社会福祉協議会
- 28日 入学おめでとう大会
- 28日 国保運営委員会
- 2月16日～2月28日 議会 日誌
- 18日 北秋田郡町村議長会定期総会
- 19日 正・副議長合同協議会
- 19日 金浦町議会来訪
- 20日 交通対策特別委員会
- 20日 建設水道常任委員会
- 23日 住居表示特別委員会
- 25日 教育民生常任委員会
- 25日 県町村議長会定期総会
- 28日 住居表示特別委員会

国民年金のかけ金

4 月 から 4,500 円 に



国民年金のかけ金が、四月から一カ月四千五百円になります。国民年金の保険料は、年金支払額に対し大変低くおさえられている現状であります。現在の給付水準を維持していくためには、一カ月七千九百二十五円の保険料が必要となっており、急激に引き上げると、保険者に過大な負担を強いことになるため、毎年段階的に引き上げすることにしております。

年度	必要保険料	実際保険料	不足額
45	850	450	400
47	850	550	300
49	2,661	900	1,760
50	4,960	1,100	3,860
51	5,040	1,400	3,640
52	5,150	2,200	2,950
53	6,400	2,730	3,670
54	7,000	3,300	3,700
55	7,925	3,770	4,143

今の負担が、将来あなたの豊かな老後をおくるため、年金として返ってくることをご理解ください。次の表は、必要な保険料と実際に納めた保険料を比較したものです。

老齢福祉年金
受けてますか

老齢福祉年金は、明治四十四年四月一日生まれまでの方（五十六年三月三十一日までに七十歳に達する方）で、恩給や厚生年金・共済年金などを受けていない方に発生する年金のことです。

もしあなたが、次のどれにも該当しないときは、早速係の窓口で相談や手続きをお受け下さい。ひとりの受給洩れもないようにしましょう。

(1) 国民年金五年年金を受けている方。

(2) 国民年金障害福祉年金を受けている方。

(3) 公的年金（厚生年金、共済年金、普通恩給など）の受給額が四十五万円以上の方。

※額は、年度改定により変更があります。

(4) 戦争公務にもとづく公務扶助料や増加恩給の受給権者が、少佐以上の旧軍人またはその遺族であるとき。

(5) 本人、配偶者、扶養義務者（子、孫、兄弟姉妹など）にある程度の所得があるとき。

※額の詳細は係へ。

三月は最終納付期です

二月、三月分の保険料はもう納付されましたか、もう一度年金納付書をお調べ下さい。かけ金を納期限までに納付しないと、本人が病気やケガをしたときに年金が受けられないこととなります。



はき気 嘔吐

吐いた後はまず体を休める

胸からみぞおちにかけて気持ちが悪くなり、ムカムカする状態を吐き気といい、胃袋の中身を吐き出してしまふのを嘔吐といい分けます。

神経過敏な人は、汚い物や気味の悪いもの、きらいなものなどを見ただけで、はき気を感じることがあります。また、ちよつとした食あたりや車酔い、船酔いなどを起こした時などにもよく起きます。これらの一時的なはき気や嘔吐は、まず心配ないといつていいでしょう。

吐けば、むしろ胃はすっきりしますから、吐きたくて苦しい時は、指をのどに突っ込んで吐き出してしまうのが無難です。水分をとって指を突っ込むと、吐きやすくなります。

吐くと全身的に消耗しますから、吐いた後は体を休めることが大切です。

はき気や嘔吐が、しょつ中、しかも持続的に起こる場合は、つわりなどを除けば、一応、体のどこかが悪いと考えられます。

盲腸（虫垂炎）の場合は、腹痛や発熱をとまなつてはき気を



生じます。その他、はき気や嘔吐の原因としては、胃がん、胃かいよう、胆嚢炎、胆石症、肝炎など緊急を要する病気がたくさんありますから、おかしいと感じたら迷わず医師に診てもらいましょう。

子どもは感冒や消化不良、自家中毒などでもよく吐きます。とくに高熱が出やすい子どもは吐きやすいようです。また、下痢をとまない体外に出す水分の量が多い場合は、脱水症になる危険がありますので、水分の補給に注意しましょう。

第40回全国教育美術展



綴子小学校
地区学校賞に輝く

財団法人教育美術振興会主催の「第四十回全国教育美術展」で、綴子小学校(畠山勇校長)の児童の作品が特選九人、入選二十五人の大量入賞を果たし、県内小学校部門で最高の「地区学校賞」の栄誉にも輝きました。

今回の第四十回にも、全国の三千二百十五校から十五万二千二百二十五点の応募があったといひます。表彰は、個人の特選や入選のほかに、都道府県内の最もすぐれている学校に贈られる地区学校賞があり、綴子小学校は今回百三十三点を応募。このうち特選に九点、入選に二十五点、計三十四点の大量入

賞を果たし、「地区学校賞」も合わせて受賞したものです。
同校からの特選は、二年宮野大義君、三年鳴海清光君、佐藤暢浩君、三沢秀一君、四年伊東竜君、五年三沢晃一君、六年山内由香さん、佐藤敏也君、小笠原頼子さんの九人。
このうち、五年三沢晃一君の作品「綴子の祭り」は、教育美術振興会発刊の「教育美術」二月号に、一頁全段カラーで紹介され、その講評によると「大きな太鼓と人物がよく画面に調和し、祭りのふん困気をかもしだしている。丹念にしかも誠実に表現されて、人格が偲ばれる」と、高い評価を得ています。
綴子小学校のこのような快挙は、同校が鷹巣阿仁部教育事務協議会のB群研究推進校として、技能教科(体育と図工)の指定を受け、五十四、五十五年度の二カ年にわたり研究実践してきたのが功を奏したもので、教育関係者も高く評価するとともに喜んでいひます。
なお、入選の児童は次のとおりです。
▽一年 石上明人、出川啓文、明石和仁、藤島琢弥、今川めぐみ
▽二年 畠山俊悦、三川万希子、藤島幸治、高橋裕樹、沢康平
▽三年 佐藤洋子、新井慎一
▽四年 畠山由起子、藤島俊広、水戸由香子、上藤さとみ、高橋英樹
▽五年 藤島和俊、出川宜良、
▽六年 成田司、伊本公徳、仲村実洋、小笠原信、畠山順子、高橋努
(写真は特選、入選の児童です)

郷土史年表

西暦	年号	事	項
一八八一	明治一四	○十二月 岩谷分教場開設	
一八八二	明治一五	○三月三十一日 七座神社が県社に昇格	
		○前山に鷹巣小学校巡回授業所を創設 鷹巣より授業生として高学年の生徒が回つてきて、読み書きを教える。	
		○綴子学校を旧郷倉に移す。	
		○太田分校を鷹巣学校に合併し、栄学校は「鷹巣学校栄分校」と改称す。	
		○八月、坊沢第一学区巡回授業所創設 大野尻、大向は津谷嘉七宅、蟹沢は伊藤要蔵宅、児童数十八名	
		○日本教育会成立	
		○北秋田郡教育会創立、事務所を郡役所に置く。	
		○鹿鳴館落成	
		○湯ノ岱に巡回授業所創設	
		○九月、土方内務大輔及び伊沢修二氏 鷹巣小学校を巡視す。	
		○第三回県議会議員に成田直衛、長岐貞治当選す。	
		○七月一日、栄村は再び鷹巣村との組合を組織し、組合戸長役場を鷹巣村に置く。栄村戸数百九十八戸。	
		○坊沢、前山、黒沢、今泉、小繋の組合戸長役場を設置	
		○七日市、沢口は合併して組合戸長役場を設置	
		○四月八日、米代川大洪水、樋、橋、堰根、堤防破損す。	
		○内藤湖南、綴子小学校の首席訓導として赴任。十月、校長任命	
		○太政官を廃し内閣制度となる。	

(次号につづく)

県北選抜中学校柔道大会

鷹中に町長杯

全戦無敗の圧倒的強さ発揮

町柔道連盟主催の第一回鷹巢町長杯県北選抜中学校柔道大会は、二月二十三日午前十時から鷹巢武道館で行われ、鷹巢中学校が圧倒的な強さを発揮して優勝しました。

大会には、大館一中、能代一中、同二中、山本中、八竜中、二ツ井中、東雲中、森吉町、合川中、それに地元の鷹巢中の十校が参加。試合は、予選リーグのあと、第二子選トーナメント、そして優秀チームによる決勝リーグ戦を行いました。優勝した鷹巢中は、予選リーグで八竜中を三対〇、東雲中を四対〇、能代二中を三対〇と連破、第二子選でも二ツ井中を五

対〇と寄せつけず、決勝リーグ戦に進みました。



あなたも—— 町政に参加を 町長への手紙

公聴活動の一環として、去る二月十五日から四月十五日までの二カ月間、「町長への手紙」を行っています。

町長への手紙は、住民の意見や要望を町政に反映させ、住民参加の町政を進めるために行っているもので、三月五日現在で三十五通の手紙が寄せられています。

この町をより住みよく、より豊かに発展させるため、あなたもぜひお寄せください。手紙の用紙黄

決勝リーグでも、森吉中を三対〇、能代二中を二対〇と破り、堂々の優勝を飾ったものです。

また試合終了後、優勝五選手を表彰しましたが、鷹中から佐藤太、畠山清暢の両選手が選ばれました。鷹中の選手は次のとおりです。

先鋒 木村泰紀 重鎮 成田勉 中堅 佐藤太 副将 畠山清暢 大将 小坂重人 補欠 三沢諭・畠山司・篠内光彦(いずれも二年)

色)は、二月十五日付け広報と一緒に配付しておりますので、切手をはらないでお近くの郵便ポストにおいれください。

参考までに、これまで寄せられた手紙の内容を二、三紹介します。

▽除雪ブルドーザーが大型(湿式)のため、家屋の振動が大きき、置物などが転ぶので、来年度からは配慮してほしい(太田・高野尻)

▽部落内の道路舗装を進めてほしい(吉野、大野尻、米の岱)

▽陸上競技場は、錠をかけているため、一般の人は柵をこえて中に入りトレーニングをしている。管理面のこともあると思うが、入口を一面所でも開放、気軽に利用できるようにしてほしい(新田中)

▽歴史的に由緒ある史蹟には記念碑を建立、史蹟保存に努めるべきである(綴子)

▽おとうさんの働けるような工場を誘致してほしい(中央小五年) 元気に働いています(東京の出かせぎ先から三通)



図書館だより

新刊図書紹介

図書館では、各学習グループ等からの希望により、つぎの本を購入しました。入荷・整理できましたので、お知らせします。

「現代俳句大辞典 明治書院」 「新社交ダンス入門」 「独習社交ダンス教室」 「七宝焼」 「デザインから彫金、七宝焼まで」 「楽焼のすべて」 「書跡名品叢書」 「玄社刊(全二百巻の中、百十巻が入)」 「書道がな、続編」 「広中平祐の数学教室」 「藤原弘達の生きざまと思索」 全十巻、 「わたしたちの手話」 会話編、一と二、 「神様の手話ができるが」 「食卓のない家」 「田地文子」 「啄木の妻」 渡辺喜恵子 「お登勢」 船山馨 「項羽と劉邦」 司馬遼太郎 「父親」 遠藤周作 「神の汚れた手」 曾野綾子 「宣告」 加賀乙彦 「遅咲きの梅」 津村節子 「七人の敵がいた」 石川達三



「女優と妻と母」 鈴木光枝半生の記 「たぐさんの足音」 楠田フキ 「裸の大將放浪記」 全四巻 「山下清」 「画集まつやまふみおの世界」 「ある遍歴の自叙伝」 帯刀貞代 「手と目と声と」 灰谷健次郎作品集 「アウシユビツと私」 早乙女勝元 「蜂と老人」 尾崎一雄 「ここに生きる」 土井大助 「くも恋いの記」 水上勉 「生きる日々」 水上勉 「母と子の旅立ち」 小山内美代子 「母と子の金八先生への道」 小山内美代子 「父よ母よ」 斎藤茂吉 「映画が若かったとき」 岩崎昶 「生きがいさがしの二人旅」 邦光史郎 「終焉の姉妹」 千田夏光 「女教師、美しき惑いのあなた」 高柳美知子 「昭和万葉集全二十巻(一より十二巻まで入)」 「内村鑑三全集、全三十八巻」 (一・二・六・八巻が入) 「鈴木大拙全集、全三十二巻」 (一・三巻が入) 「世界教育大辞典」

国民健康保険者証

4月1日から薄紫色に変更

国民健康保険の保険者証が、4月1日から新しく薄紫色に変わります。いままで使用していた黄色の保険者証は、3月いっぱいでは使えなくなります。

保険係では、下記の日程により保険者証の交付を行いますから、当日は印鑑を忘れないでください。

なお、出かせぎ、学生等で~~特~~、~~学~~の保険者証の必要な方は、4月1日以降に役場保険衛生課保険係で交付しますから、在学証明書を忘れずに持参してください。

新しい保険者証を受けとったら、すぐ記載内容を確認めて、まちがいがあったり、その他不明の点がありましたら同係にご連絡ください。

またこの変更にもとない……国民健康保険の加入者で老人医療券(桃色)を持っている方と、福祉医療券(白色)を持っている方(国保加入や社保加入を問わず全員)は、受給者番号が変更になりますので、当日は医療券も持参してください。

— 交 付 日 程 表 —

日時	会 場	午前9時～11時30分	午後1時～4 時
3・24 火	七日市 基幹集落 センター	七日市、根木屋敷、妹尾館、中畑、大畑、下舟木、吉ヶ沢、深沢、品類、岩脇、吉野、横測	
	三ノ渡会館		葛黒、三ノ渡、与助岱、黒森、明利又、松沢、上舟木
	坊沢公民館	深閑、相善町、羽立、上町、黒沢	街道町、新屋敷町、大町
3・25 水	脇神公民館	湯ノ岱、坊山、四渡、小森、中屋敷、脇神、藤株、上野、小摩当	
	南鷹巣会館		南鷹巣、舟場、堂ヶ岱、小ヶ田、川口、湯車、高村岱、緑ヶ丘、西陣場岱
	綴子児童館	上町、小田、田子ヶ沢、松原	下町、大堤、前野団地
3・16 木	栄生活 センター	摩当、李岱、田沢、岩坂、下大沢	
	掛泥会館		太田、掛泥、高野尻、高野尻団地
	今泉センター	今泉、蟹沢	
	前山会館		前山、黒沢（前沢）
3・27 金	鷹巣公民館 （ホール）	東横町、西横町、仲町、大町、学校通、旭町、新旭町、西仲通、三吉町、桜木町、森館町	元新町、柴町、花園町、末広町、米代町、東住吉町、西住吉町、北新町、太平町、摺住町
3・28 土	糠沢会館	岩谷、二本杉、大畑、向黒沢、糠沢、昭和	
3・30 月	鷹巣公民館 （ホール）	松葉町、駅前、新松葉町、材木町、東仲通、伊勢町、東旭町、西旭町、舟見町、新舟見町、幸町	田中、新田中、南田中、あけぼの町

十六年受験「調理師」の特別研修

調理師特別研修会

東北研修企画協会では、昭和五十六年受験「調理師」の特別研修



動物愛護デー3月20日

おしらせ

会を開催します。

▽期日 四月～八月まで計六回

▽会場 大館市北秋教育会館

▽研修内容 衛生法規、公衆衛生学、栄養学、食品学…など。

くわしくは、東北研修企画協会

(電話 秋田六五―〇四六五)へ

おたずねください。

中小企業設備近代化資金の貸与

代化資金の貸与

秋田県中小企業振興公社では、設備や機械類の近代化、省力化をはかりたくても、必要な資金を自力で準備できない中小企業者に対し、長期・低利の分割払いで融資

をいたします。

〔設備・機械類貸与制度〕

▽貸付金額 一千五百万円以内

▽貸付期間 四年六ヵ月(六ヵ月据置)

▽支払方法 半年賦償還

▽利息 年五% ▽申込受付 三月一日から予算額に達するまで。

〔設備近代化資金〕

▽貸付金額 一千二百万円以内

▽貸付率 設備取得額の五十%以内

▽貸付期間 五年以内(一年据置)

▽支払方法 年賦償還

▽利息 無利子 ▽申込受付 三月一日から四月三十日まで

※申し込み等、くわしいお問い合わせは役場商工観光課へ。申込書は商工観光課、商工会にあります。

町税完納強調月間

3月1日～3月31日

納税も

家計に入れて

よい暮らし



カメラ・ルポ

カメラ・ルポ

カメラ・ルポ

Ⅱ町協力委員全体会開くⅡ

永年勤続者に感謝状

日頃あらゆる分野で、役場と住民のパイプ役として活動している協力委員全体会議が、三月二日午後一時三十分から鷹巣公民館ホールで開かれました。

会議では、出川町長が日頃の活動に対して感謝を述べるとともに、町政全般について行政報告を行いました。このあと、各協力委員から質疑が行われ、続いて懇親会を催し、午後四時三十分には散会しました。

なお、会議に先立ち協力委員として永年勤続（七年以上）した、石岡喜正（東住吉町）相馬善一（北新町）米沢房治（昭和）三沢己之助（大堤）成田与五郎（緑ヶ丘）の五氏に、感謝状と記念品を贈り、その労をねぎらいました。



第九回大館北秋田生活工夫展示会



Ⅱにぎわいみせた生活工夫展Ⅱ

当町から七点入賞

農業改良普及所などが主催する第九回大館北秋田生活工夫展は、二月二十、二十一の両日、鷹巣公民館ホールで開かれ、多数の参観者でにぎわいました。

工夫展には、食料品や衣料、手芸の各部門に二百八十点が出品されましたが、当町からは次の七点が入賞しました。

（優秀賞）▽チヨロギのしょう油漬とシソ巻きあんず
Ⅱ花田和 ▽糠沢グループ活動のまとめⅡ糠沢グループ
（奨励賞）▽きのこ、山菜味付けびん詰Ⅱ小前みどり
▽ベストⅡ津谷ヒサ ▽押花の額Ⅱ大川チエ
▽冠婚葬祭用お膳Ⅱ脇神婦人会 ▽同Ⅱ堂ヶ岱婦人会

Ⅱ冬晴れの下、八百人が参加Ⅱ

“歩くスキー”を楽しむ

「第二回県民歩くスキーのつどい」が、三月一日大野台ハイランドに約八百人が参加して開かれました。歩くスキーは、自然に親しみながらスキーの基本を学び、運動不足になりがちな冬期間の体力づくりに役立てようと、秋田フィンランド協会などが主催して開いているもので、当町からも出川町長を始め多くの人が参加しました。

当日は、午前中歩くスキーの基本を学び、午後からは冬晴れの下、林間を縫う二、四、六と、自分の能力や年齢に応じたコースに出て、汗を流していました。



青少年教育など 三つの重点

社会教育5カ年計画



二月二十五日開催された社会教育委員会は、本町が当面している課題を解決するため、中期五カ年計画として、左の三つを重点目標に掲げることとした。

あすの鷹巣町をになう心身共に健康な青少年育成をめざす

青少年にかかわる諸問題は、今全国的に報道されている。将来を考えると、本町の場合も、家庭、地域社会の状況から、万全といえない。学校教育と社会教育の連携を、より一層深めつぎのような施策を構する。

1、家庭の育成機能を高めるために、

▽親を対象に家庭教育テスト▽家庭教育放送利用を奨励(すこ

やか通信) ▽PTAで家庭教育学級 ▽父親の家庭教育講座 ▽若妻の家庭教育講座 ▽家庭教育グループ学習のリーダー養成 ▽家庭教育テキスト発行

2、地域社会の育成機能を高めるために

▽部落自治公民館活動研究会(全町規模で年一回) ▽青少年教育部落町内座談会 ▽PTAの地域活動 ▽青少年健全育成推進員の活動

3、学校の育成機能を高めるために

▽PTA活動の研究指定 ▽学校教育、社会教育の連携プロジェクト編成 ▽少年教室の開設

4、育成運動の世論を高めるために

▽健全育成町民会議の結成 ▽健全育成シンポジウムの開設 ▽情報「青少年鷹巣」発行

産業、生産に貢献し生活文化の向上をめざす

現在、趣味的学習者層が増えつつある。そのことを評価しながらも、生活の合理化、転作産業の振興など、生活の必要に迫られている面へ目を向ける学習の必要を考える。学習は、単に知識の量をふやすだけでなく、諸活動とおして生活を変えてゆくものでなければいけない。そのために、

1、学習援助の見通しをし、趣味学習は自主運営の方向をめざす。

2、課題発見学習の充実をはかる。

3、自主運営技術習得のリーダー養成につとめる。

4、職員研修を強化する。

5、既設社教関係団体における学習活動の見直しと、奨励援助をする。

連帯と自治によるコミュニティづくりをめざす

当町における部落、町内の自治活動は環境整備等に大きな成果をあげている。しかし、今後更に、「明るく住みよい地域づくり」のためには、一層の連携と学習実践活動をすすめるなければならない。

1、地区巡回座談会等で、学習啓発につとめる。

2、住民の意識調査をする

3、地域課題発見学習・課題解決学習の推進重点地区の設定。

4、コミュニティ研究会を開く。

部落訪問



よ 渡り 渡

国道一〇五号線から東北縦貫線につながる短絡線は、道幅が広く気持ちよい。小森から約三・五軒ほどして四渡部落があらう。

二月二十三日、成田市五郎氏宅を訪れる。坊山小学校に二十数年間勤務され、最後は鷹巣小学校で一年間私と同職し、私といっしょに退職された方で、四年ぶりのなつかしい再会であった。

この地域は、更に奥の方にある坊山・湯ノ岱と共に沢口地区における山林資源の豊庫で、重要な木材、薪炭、草の供給地であった。藩政時代は小森村の支郷で、六郡郡邑記(二七三〇年)には家六軒とある。小猿部地方と比内地方を結ぶ重要な交通路でもあった。

昔、人や馬は、小森川沿いの細道を歩いてゆくと、浅瀬を探して何回も川を渡らなければならなかった。小森から四つ目の渡り場であったので「四渡」といったのであろう。手前には「二渡」という地名も残っているといる。

神明社のある森



水の便もよいので、古くから人々が住み水田耕作をしてきた。昭和の初期には十二軒、今は十五世帯と僅かに増えている。農業のかたわら、広大な国有林の作業に従事してきたこの人々は、戦後は、陸稲や大豆畑も水田化し、現在は約二十haの水田を持つている。今では山の仕事もなくなり、女の人達は縫製工場へ、男の人達も町に出て働いている。明治になって神社は小森の八幡宮に統合されたが、お祭りなど小森まで出向く不便と、やはり部落の産土神がほしいということから、御神体をこっそり持ち帰り神社を建て祀ったといふ。この神社は神明社である。

町ではこの集落を成人病予防集落に指定し、部落会館で定期的に検診や健康管理の指導をしている。

(公民館長 長崎 久)



ぼくのおばあさん

ぼくのおばあさんは、いつも五時ごろにおきて、そうじをしたり、せんたくをしたりします。ぼくがおきてくると、へやは、もうあたたかくなっています。

いつも、仕事をたくさんやっているから、つかれているとおもいます。



竜森小学校 3 年

堀 部 渉

ます。
これからは、ぼくも、時々てつだってやりたいと思います。



末広町 武田 豊 民 (35)

全町一斉清掃の実施を !!

子供会の社会奉仕活動は、全町それぞれの子供会で実施されていますが、末広町の「一番星子供会」では、三年前から毎月第三日曜日の家庭の日を町内清掃日とし、朝七時、ホーキやデレッキを持参しての活動を続けてきました。当初はとまどいぎみであった子供たちも、今では袋を持つ者、

ゴミを拾う者それぞれ役割りを分担しながら仲良く一生懸命頑張っております。

路上、下水に散乱しているゴミを分類してみますと、タバコの吸い殻が最も多く、アイスクリーム、アメなどの紙くず、ジュースなどの空缶などがこれに続きます。清掃日には大きなポリ袋三つ四つが、たちまちいっぱいになってしまいます。この清掃の実施によって、最近子供たちの意識が少しずつ変わってきたように思います。その一つ子供たち自身道路へ物を捨てなくなってきたこと、その二、よその人が捨てた物でも拾って、環境をきれいにしようとする気持ちが生み出されて来たこと等です。

我が町でも「お手伝い」の大切

みんなの広場



はんげしょう

カタシログサともいう。
葉の半分が白くなる。水辺に生じる宿根草。

(理科センター・阿部達雄先生)

広報のしおり

〈放送記念日〉

三月二十二日

大正十四年三月一日にNHKが開局し、同月二十二日午前九時三十分、東京芝浦の東京高等工芸学校に設けられた社団法人東京放送局の仮スタジオ

さが叫ばれておりますが、認識不足のせいかなかなか実行されていないようです。しかしこの「お手伝い」の「心」も同時に身につけることの出来る清掃奉仕活動は、子供たちの人間形成において、公共心を養うよい機会であると考えます。

それにつけても、タバコの吸い殻やゴミ等を平気で捨てる大人の無責任さには全くあきれてしまいます。子供たちを教育するためには、まず大人が公衆道徳の模範を示すべきではないでしょうか。そこで提案します。大人も子供も一体の全町一斉清掃の実施をしたらいかがでしょうか。私たちの心を町を社会を清め、住みよい環境作りをしようではありませんか。

オから初放送が行われました。
一九一三年（大正二年）ごろラジオの生命ともいうべき真空管が発明され、欧州大戦で通信機が大活躍しましたが、これが契機となつてラジオ放送の誕生となり、一九二〇年（大正九年）アメリカでビツパークのKDA局がはじめて放送を開始しました。

日本でも大正十年ごろから研究されていましたが、大正十二年九月一日の関東大震災で中央の通信機関がごとごとく破壊されたのと、このときいろいろの流言ひ語がとび、不詳事件発生の原因となつたことから、ラジオ放送の開局が急がれ、大正十四年のこの日に初放送が行われたわけです。

たかのす文芸

早春二題

大町 三日田 吉 治 (66)

猫 柳

ねこやなぎが
こんなに もう大きくなっている
やとと 豪雪の冬が去ろうとしているのだ
なぎさを歩き乍ら語りあう
ぎっしり つまった春旅のプランを

椿山荘にて

なに人の
つくりたまわん
この庭に
梅かぐわして
咲きにおいけり

おしらせ



一線美術会委員 九島繁二氏

三月の健康相談

成人健康相談は、二十五日まで。時間は、午前九時から午後三時まで。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。

場所、鷹巣公民館保健相談室。

◆ 乳児健康相談は、十九日、五十

五年十一月生まれとなっています。受付時間は、午後零時半から一時まで。

◆ 離乳食実習指導は、十九日、五

十五年八月生まれとなっています。受付時間は、午前九時半から十

時まで。乳児健康相談も併せて行いますので、お子さんもお連れください。

※場所は、いずれも鷹巣保健所。

固定資産税 台帳の縦らん

昭和56年度分の固定資産税の課税の基礎となる固定資産課税台帳を、次により縦らんいたします。

記

とき 3月2日～20日まで

午前8時30分から

午後5時15分まで

なお、日曜日、祭日

は除きます。

ところ 鷹巣町役場税務課

農耕用軽油の 免税証を交付

北秋田県税事務所では、昭和五十六年の農耕用に使用する軽油の免税証を、三月十九日午前十時から午後三時まで、役場三階第一会議室で交付いたします。

おいでの時には、次の関係書類をご持参ください。

◆新規申請書 ①農耕用機械の有証明書 ②耕作面積の証明書

③申請者の印鑑

◆継続申請者 ①免税軽油使用者証 ②耕作面積の証明書 ③申請者の印鑑 ④免税軽油使用者証の有効期限が切れている場合や、農

耕用機械に変更がある場合は新規扱いとなります(この場合、旧使用者証は返納)

なお、前年に二百リットルを超える免税証の交付を受けている方は、その引き取りに係る納品書(写)、または石油販売店からの証明書が必要

です。

停電のお知らせ

東北電力では、三月十六日以降作業停電を次の日程で実施します。

▽16日 役場付近全域(午前九時から正午まで) ▽17日 南鷹

巣町営住宅全域(午前九時から午後一時まで) ▽27日 綴子下町

全域(午前九時から正午まで)

水田耕作面積 の移動届けを

水田利用再編対策の昭和五十六

年度の集落仮配分を、個人明細書を付してすでに一月二十一日から

二十三日までの間に、各集落の農協支部長を通じて配分済です。

農地の移動ある農家は、農地の

出かせぎ互助会 の会費を改正

出かせぎ互助会は、昭和四十五年に設立、この間出かせぎ支援対策の中心的役割を果たし、出かせぎされる方々から大変喜ばれて現在に至っております。

しかし最近、会員の高齢化の進行に伴う事故率の上昇と、諸物価の高騰等によって、互助会費用は年々増嵩し、今後とも費用増加が見込まれることから、会費の適正を図ることになりました。

従来の年会費六百元は、五十六年四月一日から八百円に改正されます。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に深く感謝いたします。

▽太平町 五代儀与兵衛さんから亡母ブンさんの香典返し

三〇、〇〇〇円

▽新舟見町 武田エイさんから亡夫哲郎さんの香典返し

二〇、〇〇〇円

▽学校通り 近藤実さんから亡父利四郎さんの香典返し
三〇、〇〇〇円
▽小摩当 本城谷久三さんから亡父清治郎さんの香典返し
二〇、〇〇〇円
▽東横町 田村重三郎さんから亡父三太郎さんの香典返し
三〇、〇〇〇円

慶弔だより

2月16日～2月28日

誕生おめでとう、ございます

畠山 忠博(一治 二男) 大野尻
桜庭 一孝(孝志 長男) 舟見町
照内 陽平(均 長男) 綴子下町
佐藤 巧也(弘司 長男) 七日市
藤島真希子(孝雄 長女) 舟見町

二人の前途を祝福いたします

―― 亀山 忠司 南鷹巣
村田 明美 鹿角市
松尾 貢 七日市
三浦 悦子 大館市
公文 治 東京都
長岐 靖子 七日市

おくやみ申しあげます

田村三太郎(80歳) 東横町
武田タキ(79歳) 前山
三国平八郎(64歳) 米代町